

令和5年度

浜松市立和田小学校  
第2回 学校運営協議会



令和5年9月12日(火)  
13時45分～15時45分  
視聴覚室にて

## 〈本日の日程〉

13:45~14:15 授業参観 ※ 御自由に御参観ください。

14:20~15:45 学校運営協議会

### 学校運営協議会 次第

※ 開催要件確認(委員の過半数の出席が必要です。)

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議

(1) 授業についての意見交換

(2) 今後の学校運営について

~1学期教育課程アンケート結果をもとに~

6 その他

・学校支援活動について

・情報交換 等

7 連絡

○ 第3回運営協議会 11月9日(木)

令和5年度 浜松市立和田小学校 学校運営協議会 委員

五十音順

氏名	ふりがな	肩書等	住所
安藤 小ゆり	あんどう さゆり	主任児童委員	和田町
神谷 みち子	かみや みちこ	元小学校長 学校支援コーディネーター	篠ヶ瀬町
齋藤 博	さいとう ひろし	元自治会長	薬師町
鈴木 滋芳	すずき しげよし	自治会長	篠ヶ瀬町
高橋 靖博	たかはし やすひろ	前PTA顧問・R3PTA会長	篠ヶ瀬町
林 實	はやし みのる	地域安全推進委員 元自治会長	北島町
箕浦 利弘	みのうら としひろ	民生委員	北島町
山内 慶一	やまうち けいいち	PTA顧問・R4PTA会長	薬師町

○ オブザーバー 浜松市天竜協働センター長 西澤 幸次朗

○ CSディレクター 伊藤 裕美 (いとう ひろみ)

○ 学校職員

校 長 横井 靖二 (よこい やすじ)

教 頭 岡本 綾子 (おかもと あやこ)

主幹教諭 平本 智之 (ひらもと ともゆき) ※CS担当職員

## 令和5年度 第1回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月12日（金）14時10分から15時45分まで
- 2 開催場所 和田小学校 視聴覚室
- 3 出席者 【委員】安藤 さゆり、神谷 みち子、齋藤 博、鈴木 滋芳、  
高橋 靖博、林 實、箕浦 利弘、山内 慶一  
（欠席委員なし）  
【学校】横井 靖二（校長）、岡本 綾子（教頭）、  
平本 智之（主幹教諭）
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 裕美
- 6 議長の選出

司会の岡本教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

### 7 協議事項

※学校経営構想を踏まえた上での意見交換をするため、協議事項(1)と(2)を入れ替えた。

- (1) 学校経営構想の詳細について
- (2) 授業についての意見交換
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

### 8 会議記録

司会の岡本教頭より、委員全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校経営構想について

校長から学校経営構想について、保護者向けに撮影された説明動画をこの場で視聴した。その後、学校担当者から「令和5年度和田小学校経営構想」（別紙参照）についての説明があり、それについて次の様な意見が出た。

- ・学校経営構想の動画について、校長の言葉で直接聞くことで、冊子で読むよりもわかりやすく、よく理解できた。良い試みだと感じた。（神谷委員）
- ・コロナ禍が明けたのが要因なのか、昨年度より挨拶が多く聞けるようになり、授業の様子も活発で、学校全体の雰囲気明るくなったと感じた。（山内委員）
- ・学校経営構想の動画を見て、校長の表情が柔らかく、子供たちとの距離が近く、親しみやすい雰囲気を感じた。学校全体の雰囲気も昔に比べて明るくなった。（箕浦委員）

- ・道徳の授業を充実させるという目標に向けてすでに実行されていると感じた。タブレットを活用した授業は、見る度進化している。コロナ禍で体力の低下が見られ、心配している。今年度はコロナによる制限も減っているため、特に体力向上に取り組んで欲しい。(高橋委員)
- ・コロナ禍や、熱中症の心配から外遊びをする機会が減っている中で、田んぼに生える草花の名前や、食卓に並ぶ食材がどのように育てられていたか等、学校の授業だけでは学べない「生きる力」を育む事が難しくなっている。学校、家庭での課題として考えていきたい。(安藤委員)
- ・朝、通学路で挨拶の声掛けをしているが、今年度は昨年までと比べてとても気持ち良い挨拶ができています。(林委員)

→横井校長より、昨年度末、集団登校の期間中、通学班の班長を中心に挨拶についての指導を行い、班長の子供たちが低学年の子供たちの見本となるように指導しているとの報告があった。

また、「いじめ防止基本方針」(別紙参照)について説明があり、本校の事例をあげ、現在の対応状況について報告があった。それについて委員から以下のような意見があった。

- ・いじめの定義が昔とは異なっている、引き続き丁寧な対応をして欲しい。(鈴木委員)
- ・いじめを早期に発見するのは難しいが、発見が遅れると解決にも時間がかかる。共働きの家庭が増える中、子供との時間を取るのが難しくなっているが、家庭と学校が注意して子供たちを見守っていくことが大切だと感じている。(箕浦委員)

## (2) 授業についての意見交換

会議前に授業参観を行い、それについて意見交換した。

- ・子供たちがとても活発に意見交換をしながら授業に参加していた。(鈴木委員)
- ・1年生の給食の配膳の様子を参観した。4月に1年生の給食の配膳をサポートするボランティアをしたが、その時と比べて、格段に子供たちの動きが成長していて驚いた。(神谷委員)
- ・マスクを外す子が多く見られ、表情が見られることによって教室の活気が戻ったと感じた。タブレットを活用した授業は日々進化していて、子供たちの様々な情報を収集する能力もそれに伴って育っている。(林委員)

## (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

司会の岡本教頭から、夢育やらまいか事業の説明と、今年度予算書の説明があり、全員意義なくこれを承認した。(別紙参照)

(4) その他

◎ボランティアについて

今年度1年生の給食の配膳をサポートするボランティアを実施した。初日は初めての給食に戸惑う子も多かったが、日ごとに成長する姿が見られ喜びを感じた。参加した方から「また参加したい」との積極的な声が多く届いている。引き続きボランティアを通して地域で学校を支援していきたい。(神谷CD)

◎学校運営協議会の今年度の目標について

委員より、「昨年度より活発な意見を出し合おう」「学校運営基本方針に沿った教育活動の充実につながる協議を進めよう」等の意見が出たが、それらの意見を持ち帰って個々に考える時間を持ち、次回協議会で意見をまとめる事とした。

◎諸連絡

次回の学校運営協議会は9月12日に開催するとの報告があった。

以上

## 1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

## 2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

## 3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

### <評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

## 4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

## 5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

## 6 評価結果の報告と改善支援

### (1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

### (2) 教育委員会による改善支援

#### ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

#### イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

### 附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ( )

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。



(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ( )

<本年度の目標>

--

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

--

【 熟議子エックシート 】

委員名 ( )

できている もう少し

<p>評価項目 1</p>		<p>校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。</p> <p>基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。</p> <p>学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。</p> <p>学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。</p> <p>学校運営について、率直に意見を述べることができた。</p>
<p>評価項目 2</p>		<p>学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。</p> <p>熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。</p> <p>これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。</p> <p>協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。</p>